

第18回 プロとの共演、やり遂げた！

～ クリスマス音楽会 ヘンデル「メサイア」全曲 ～

第54回音楽堂クリスマス音楽会 ヘンデルの「メサイア」が、12月15日（日）、県立音楽堂で開催されました。今回は54回目ということで、光陵高校と同じ歴史を持つ伝統の音楽会です。「音楽堂『メサイア』未来プロジェクト」の一環として、神奈川県合唱連盟の方々による合唱団に交じって、本校合唱部5名が、「メサイア」全曲歌唱にチャレンジしました。合唱部2年川合さん（KR）、2年近藤さん（K）、2年松川さん（M）、2年渡邊さん（W）、1年河合さん（KA）に話を聞かせてもらいました。

当日は、私も客席で聞かせていただきましたが、素晴らしい演奏でしたね。会場全体が感動に包まれていて、拍手がなりやみませんでしたよね。練習はいつ頃から始めたのですか。

夏休み前にNHK合唱コンクールで県立音楽堂に行ったときに、この楽譜をお借りしました。練習は10月頃からです。1週間に1回くらいのペースで、同じように参加している多摩高校や、法政二高などをお借りして一緒に練習をしました。本番が近づくにつれて、合唱団に入っの練習をしました。



「メサイア」全曲は大作ですから、楽譜もとても厚くてボリュームがありますね。準備も大変だったと思いますが、本番に向けて一番苦労したのはどんなところですか。

メリスマと言って、細かい連符が連なるところが何回か出てきます。流れてはいけないと指導を受けましたが、音程を正確にとっていくことが難しかったです。高い音域の部分はさらに難しかったです。

キリスト教の宗教曲なので、歌詞はすべて古典英語です。発音については、イギリス人の先生から指導を受けましたが、それも大変でした。

他の高校の人たちとの合同練習はどうでしたか。

普段は少ない人数で練習をしているので、いろいろな学校と交流しながら大勢で歌えるのは楽しかったです。発声方法も学校によって違っていたりして、こういうやり方もあるのだなど、勉強になりました。

午前中がリハーサルだったと聞いていますが、その様子を聞かせてください。

県立音楽堂の舞台に立ち、初めてオーケストラやソリストの方々と一緒にリハーサルに

臨みました。プロの方たちの生の音が気持ちよすぎて、特等席だなと思いました。

オーケストラの方々もいて、ワクワクしました。緊張もしましたが、人数も大勢なので、安心して参加することができました。

満席の客席を前にして、本番が始まったときはどんなことを感じましたか。

(KR) たくさんの人に見られていると思うと、最初は緊張しました。しかし、周りは、他校の生徒さんや合唱団の方など、一緒に練習を重ねてきた人たちなので、皆と合わせながら楽しくできました。

(K) 1部のときは緊張して体が浮いているような感覚がありました。休憩時間に気持ちを切り替えて、重心をおろすことを意識しました。そのおかげで、2部はいい状態で歌うことができたので、達成感がありました。

(M) コーラスで最初に入るのがアルトなのですが、第一声から、お客さんに届けることを意識しました。うまくいかなかったところもありましたが、楽しむことができました。

(W) ステージに立ったとき、周りに合唱団の人がいたので不安はありませんでした。曲が進むにつれて、自分が思ったとおりにできました。オーケストラと一緒に共演できたのも良かったです。

(KA) 観客席に近い位置だったので、姿勢を意識しました。楽しかったにつきますと思います。

プロのオーケストラ、ソリストの方々の演奏を間近に聞くことができましたよね。

耳が幸せでした。

指揮者の小泉ひろし氏からの指導を直接受けてどうでしたか。

本番前、3回ほど指導を受けましたが、大きなホールで声をどう響かせるかということが勉強になりました。喉を使わずに、横隔膜の支えのもとで、力まず自然に歌うということです。響く音は、前にとんでいき、自分には聞こえないので、これでいいのかなと思う状態が実はそれでいいのだという話もしてくださいました。

本番では、曲に合わせた表情をしてくれるので、私たちもそれに合わせて歌いやすかったです。

合唱団の方々との交流はありましたか。

ご高齢の方も多いのですが、皆さん優しく話しかけてくださいました。たまたま話しかけてくださった男性の方が、弘明寺にある附属横浜中学校の場所にかつてあった横浜国立大学工学部出身で、当時の様子などを聞かせてくれました。人と人とのつながりを感じました。

私の隣にいた女性は、ご高齢ですが、とてもきれいな方でした。戦時中に学生時代を過

ごし、外国の歌、ダンスなどはできなかったこと、戦争が終わり、学校でも歌や合唱をすることができるようになり楽しかったことなど、話してくださいました。

合唱団の方々も、皆さんのような高校生と一緒にステージに立てて良かったのではないかと思います。ところで、合唱部の普段の活動を教えてください。

週に3回集まって、まずは体操、体幹トレーニング、呼吸トレーニング、発声、そして曲の練習になります。今は、25日に校内で行うクリスマスコンサートに向けて練習をしています。クリスマスソングの他、1月にあるアンサンブルコンテストで歌う金子みすゞさんの「ゆめ売り」「私と小鳥と鈴と」なども歌います。人数が少ないのでアカペラの曲が多いです。学芸音楽祭では、スタジオジブリの“あの曲”も披露します。

ところで、光陵高校での生活で最も充実していることは何ですか。

(KA) 私は部活動が一番楽しいです。

(W) 私も部活動です。茶道部にも所属しているので、週3日すべて出るとは難しいのですが、充実しています。

(M) 中学のときは生徒会に所属してほぼ毎日活動をしていたので、部活動に出ることができませんでした。そのため、進路のことなどを相談することはありませんでした。今は、いろいろな悩みもなんとなく相談できたりしますので、部活動が楽しいです。

(K) 私も部活動です。中学校時代から光陵高校の合唱部に入りたいと思っていましたので、それが実現したことがうれしいです。そして、同じ志を持つ仲間と出会えて、一緒に歌を作っていけることがとても楽しいです。

(KR) 部活動、生徒会など、学校に来ることが楽しいです。仲の良い友達もいるし、毎日が楽しいです。

今後、合唱部の展望やアピールする点があればお願いします。

現在1年1人、2年4人の計5人なので、新入部員がたくさん入ってくれるように頑張ります。光陵合唱部は、アットホームな雰囲気です。皆仲がいいことが魅力です。また、顧問の加藤先生が、熱心に指導して下さるとともに、様々な機会を与えてくれるので、感謝しています。

多くの新入生を迎え、ますますの活躍、そして、来年度の「メサイア」を楽しみにしています。どうもありがとうございました。